

令和4年度内閣総理大臣賞受賞者受賞理由概要
畜産部門

飼養衛生管理徹底と完全無薬化による安全・安心で健康な豚肉の生産

○氏名又は名称 吉野 毅・吉野 聡子

○所在地 岐阜県高山市

○出品財 経営（養豚）

○受賞理由

・地域の概要

高山市は、岐阜県の北部に位置し、岐阜県下3農場のうち高山農場と白川農場が位置している飛騨地域の農業産出額は、令和3年度で186億1千万円であり、うち畜産は42.6%の79億3千万円であるが、飛騨牛が59億7千万円とその大半を占めている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

平成元年に妻と二人で100頭規模の養豚一貫経営を起業し、現在では岐阜県下で3農場を展開している。平成14年から完全無薬飼育を開始し、地域連携したブランド豚や6次産業化による経営多角化に取り組んでいる

・受賞者の特色

(1) 衛生管理を徹底した完全無薬飼育を実現

「安全・安心で健康な豚肉」の生産を実現させるため、徹底したバイオセキュリティ対策を実践し、豚熱等の病気の侵入を防止している。また、肉用豚に抗生物質等を一切使用しない完全無薬飼育を実践しながら、3農場の平均農場事故率は4%（R2年度）と全国平均を大きく下回っている。

(2) ブランド豚生産や6次産業化を実現

豚肉の差別化や地域ブランド化を目的に、3品種を祖先とした雌系統と2品種を祖先とした雄系統を交配して生産する無薬飼育の豚を核として3種類の銘柄豚化を図り、付加価値を高めている。また、銘柄豚を使用したレトルト食品等による6次産業化も実現している。

(3) 女性の活躍

役職員20名のうち6名が女性であり、繁殖部門に加え、豚肉の販売促進活動や、各種養豚関連行事でも大きな活躍を果たしている。また、聡子さんは経営権の半分を持ち、「岐阜県女性農業経営アドバイザー」としても活躍している。

・普及性と今後の発展方向

農場の特色である徹底した衛生管理体制や完全無薬飼育の確立は、感染症に悩む全国養豚場の規範となると期待できる。今後の取組として、加工販売施設の設置や白川農場に続き他2農場も食の安全だけでなく労働安全や環境保全など生産工程における全般について適切な農業者に付与されるJGAP認証の取得を目指している。ご子息2名も農場長として就農しており経営の継続性も高く、今後の発展も期待できる。